

平成26年度 全国学力・学習状況調査（6年生実施）結果について

平成26年4月22日実施

- 教科に関する調査（国語・算数） A問題（おもに知識に関する問題） B問題（主に活用に関する問題）
- 質問紙調査（学習・生活意識）

4月22日に「全国学力・学習状況調査」（6年生）が実施され、このほど、調査結果を受けての報告が文科省より出されました。本校の状況についてお知らせいたします。全国学力・学習状況調査は「学力調査」「学習意識調査」「生活意識調査」の3つで構成されています。

【教科 国語 算数】（平均正答率%）

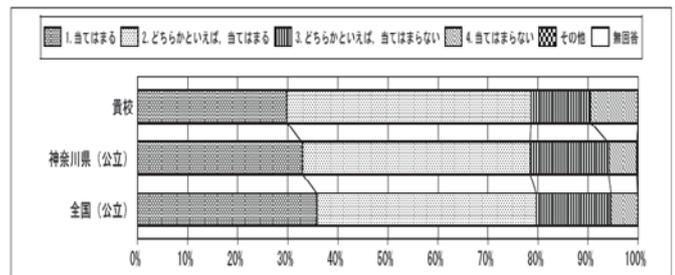
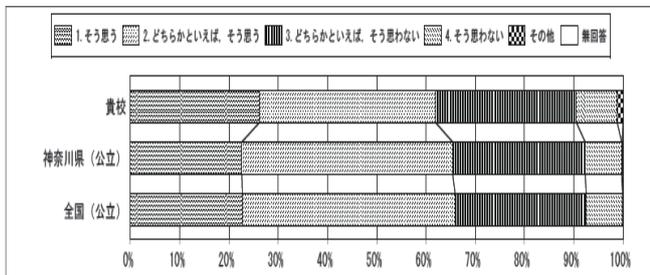
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
本校	82.5	68.6	85.8	70.9
神奈川県	71.3	54.6	76.9	58.6
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

本校は、国語、算数の知識、活用ともに神奈川県や全国の平均を上回っています。各問題における正答率を見ても、国語、算数ともにほぼすべての問題で正答率が平均を上回りました。

【児童質問紙 学習意識・生活意識】

本調査により、緑園東小学校の児童が十分に達成できていた点として、◎学校に行くのが楽しい。◎図書館利用率が高い。◎新聞を読んでいる割合が高い。◎地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。などが挙げられます。一方、今回の結果と緑園東小学校が目指す子ども像「自分の思いをもち、互いの思いを認め合いながら、主体的に考えを深める子の育成」とを重ねてみたところ、今後の改善点として次の質問項目に関するものが挙げられます。

- ① 「学級の友達と、学び合いができているか。」
- ② 「先生はあなたのよいところを認めているか。」



- ③ 「教師が授業のはじめに、めあてを示していたか。」

【学校で取り組んでいくこと】

子どもが「自分のめあてをもつ」学習の展開

子どもが学習意欲を向上させ、見通しをもって学ぶことができるようにするために、子どもが自分たちで課題を設定し、主体的に解決していくように支援していきます。

「学び合いの学習」(グループ学習)を取り入れる学習

互いの考えを認め合い、よりよい考えを導き出す力、共働で解決していく力を身につけるために、子ども同士で考える機会を十分に確保します。これらとともに、子どもたちの主体的な思考の土台となる言語の力を向上させるために、学校全体で「朝の作文学習」に取り組みます。朝学習の時間に体系的な作文学習を導入することで、どの学年でも書く力が向上し、自分の考えを根拠をもって明確に表現したり、互いの考えを伝え合ったりできると考えます。教師はさらに一人ひとりに寄り添った支援を心がけていきます。